



Alma Mater

SAPIENTIA

英知大学同窓会会報

創刊号 Mar. 15, 1994

発行：英知大学同窓会

兵庫県尼崎市若王寺2-18-1

TEL (06) 498-6258

発行責任者：野村 裕

編集：英知大学同窓会総務委員会

開学30周年を迎えて 新役員 決定！

英知大学本館H-301教室において平成5年11月3日、同窓会総会が行われました。毎年、学園祭最終日に行われているもので、英知大学30周年の節目の年にあたることや、同窓会関東支部から中村支部長が参席するなど、例年になく多くの同窓生の出席の中で行われました。

まず福原会長が挨拶に立ち、中村副会長より平成4年度の活動報告、また会計、会計監査より順次報告が行われました。これに続いて、任期満了に伴う役員を選出が立候補、福原会長の推薦により行われ、満場一致の拍手をもって承認されました。

新しく選出された野村会長は「新たな後輩を役員として毎年加えてゆき、年々活性化、活発化する歴史的継承性を持った同窓会にしたい」との意欲を表明しました。また、平成5年度活動計画、予算案を発表し、これも満場の拍手をもって承認されました。



この総会では同窓会より「開学30周年記念品」が井上學長に手渡され、学長から同窓会へ感謝と激励の言葉を戴きました。また、現在170名の会員を数えるに至り、活発な活動を続けている関東支部の活動報告が行われるなど充実の内に閉会しました。

これ迄の感謝と、これからに期待します

梅香る弥生3月、同窓会員の皆様におかれましてはご健勝のことと、心よりお慶び申し上げます。昨年平成5年は、国内外ともに歴史を変える激動の年でした。英知大学同窓会も、創立以来20年間私が会長をつとめさせて頂いておりましたが、11月3日の総会において、活動力と創造力にあふれる新執行体制が誕生したことは、これからの同窓会発展のために素晴らしいことです。

永遠に続く歴史には、誰かが何かに携わります。ゼロからの出発、偶然に私達がそれを担当しました。そして今、無事バトンタッチができました。体制が変われば中味が大きく変わります。これは私が一日も早く

前同窓会会長 福原 宏章

実現して欲しかったことです。これで同窓会に対する会員方達の意識の取り組み方がより一層拡大され、活発化することと信じます。英知大学の卒業生同志のご縁というものをもっと認識し活用しない手はありません。英知の出身という自覚をもって社会に貢献し、自らの生活をエンジョイしていただければと願う次第です。新体制のもと、どうか私達のできなかつた企画や事業活動を積極的に展開して下さい。私も一会員として応援します。これ迄の長い間、私を支え続けて下さった本当に多くの役員の方達に心から感謝いたします。皆様の献身的なそのお志を祝福し、ご活躍を期待しています。ありがとうございました。

例年になく200名余りの卒業生が一堂に会し、ともに母校30年の歴史や、卒業生同朋が既に4000名強に上る事に思いを巡らせ、それぞれの思い出にひたっていました。

来場者には同窓会発行の“30周年記念誌”と記念品が配られ、ほのかなビールの酔いと数々の思い出に包まれて記念パーティーは幕を閉じました。

最後に今回の30周年行事の開催にあたり、ご活躍戴いた「英知開学30周年会」のメンバー各位、並びに、多大なご援助を戴いた先生方はじめ、大学関係者の皆様に心からお礼申し上げます。

* 会計報告について

次回同窓会総会において、詳細を報告させていただきます。

11月3日売上 ● 会費(一人当たり 1,000円) 206,000円
● バザー売上 28,880円
● 飲み物売上 13,252円

皆様には多数ご来場、ご協力ありがとうございました。

今年の HOME COMING DAY は

事業委員長 黒川 隆文

同窓会では今後、毎年11月3日に HOME COMING DAY を開催し、多数の同窓の皆様は母校を尋ねて頂くべく計画しています。母校を巣立ち、我を忘れて働いてきた方々が、ふとなつかしい母校や友人達を思い起こすのは、卒業して10年後くらいではないでしょうか。そこで卒業10周年記念パーティー(仮題)を開催する予定です。

今年は昭和59年に卒業された方々がちょうど10年目にあたります。

学生として付き合っていた友人達が社会人としてどのように成長したのか、また、自分がどのようにして努力を重ねてきたのかを語り合い、旧交を温め、さらに交友を深め合う場所にできればと考えています。もちろん、成長した後輩の姿を見に来られる先輩方や、先輩に会いに来られる後輩方も大歓迎です。

誘い合ってぜひ一度母校に遊びに来てはいかがでしょうか。きつとなつかしい顔に出会えるはずですよ。

1994 年度 英知大学同窓会 事業計画案

1. 卒業式への献花及び卒業生への祝辞、記念品の贈呈(名簿)
2. 入学式への献花
3. Home Coming Day のイベント企画 (OBクラブ開催)
4. 英知大学祭実行委員会への助成金
5. 英知大学開学30周年記念誌の発行
6. 同窓会年報発行企画
7. 会員名簿管理のシステム化 (会員名簿の追補版発行)
8. 大学クラブ活動の活性化への援助
9. 英知大学同窓会 東京支部との交流
10. 大学卒業生への就職協力 (就職課とのタイアップ)
11. 同窓会愛称の選定
12. 会則の見直し
13. 同窓会費及び徴収方法の再検討
14. 西文科記念行事への助成
15. 大学開学30周年記念 大学側への寄付

以上

1994年度

英知大学同窓会 予算案

(収入の部)

要 目	金 額	適 用
前年度繰越金	9,404,164	スーパー定期 5,000,000. 普通預金 4,335,941. 現金 68,223.
同窓会会費 受取利息	2,400,000 20,000	240名×10,000.
合 計	11,824,164	

(支出の部)

要 目	金 額	適 用
配布金(東京) 寄 付 機関紙発行費	200,000. 1,000,000. 1,500,000.	支部運営費 交通費 開学30周年大学への寄付 開学30周年記念誌 1,200,000. 会報 300,000.
西文科記念行事助成費 献花費及び記念品費	300,000. 60,000.	入学 卒業 40,000. 卒業記念品 20,000.
OBクラブ開催費 大学祭実行委員会助成費 クラブ活動助成費 会員名簿システム化 及び追補版作成費	100,000. 50,000. 100,000. 600,000.	Home Coming Day イベント クラブ育成及び協賛 システム管理 300,000. 追補版作成 300,000.
総会費 事務所維持費 郵送費	800,000. 50,000. 1,248,000.	案内状作成 郵送費 委任状 電話代 事務用品 記念誌 4000×250 年會報 4000×62
公認会計士報酬費 会議費 雑 費 予備費	150,000. 120,000. 100,000. 200,000.	年間契約 10,000.×12回
合 計	6,578,000.	



御卒業おめでとうございます。真綿に包まれていた学生生活を卒業して実社会生活という厳しい現実直面し、社会人への期待より、大学との惜別に後髪を引かれる思いで一杯だと思います。これから5年、10年は後を振り返ることもなく必死になって働かなければなりません。いつも気を張ってばかりでもおられません。息を抜く事も必ず必要になって来ます。そんな時には、大学の同窓会を思い出して下さい。

毎年11月3日(祝)には昔の友人達が大学校内で必ず待っています。昨年は200名を超える同窓生、先生方後援会の皆様が集まりました。今回卒業された皆様も気軽に大学へ戻り、懐かしい顔を合わせ旧交を温めて来て下さい。

英知大学も開学より30年が経って徐々に学舎としての形を整える事が出来たと思います。我々同窓会も30周年を機に体制を一新しました。これからは今までより一歩踏み込んで大学との関わりを持ち、現役の方々のお役に立つ様な会にして行かねばと考えております。

同窓会としてやらねばならないことは一杯ありますが、その手初めとしては、就職課との連絡を計ることがあげられます。すでに4000名を超える同窓生がいる訳ですから、後輩をどんどん先輩のいる企業へと引っ張ってくれる様なシステムを作っても良いはず。そうすることによって、卒業生がより広い選択肢の中から就職先を探せるようになればと考えております。

この外にも我々の出来る活動はまだあるはず。そこで、今回御卒業される方々にも積極的に同窓会活動に参加していただき、大学の発展の為、力と英知を貸していただきたいのです。

逆に言えば大学開学より30年経っているにも関わらず、余りに母校が知られていないのが現実です。これは一重に今御卒業される方々を含めた同窓生の努力にかかっているのです。がんばれ、卒業生！

同窓会への ご意見、ご要望をお聞かせください！
新しい役員で新たにスタートした同窓会の活動について同窓会会員の皆様のご意見、ご要望をお聞かせ下さい。
英知大学内の 同窓会室に設置の電話《06-498-6258》
FAX 又は 留守電へ、どうぞ気軽をお願いします。

関東方面へ就職される方へ！

英知大学同窓会は関西だけでなく、関東にも進出しています。ですから、関東方面で就職される方、転勤される方でも英知大学同窓会の輪に参加できます。ご安心下さい。連絡先は次の通りです。一度お電話ください。

名称：英知大学同窓会関東支部
支部長：中村 和徳
TEL : 03-5706-0798

編集後記

O 皆さんおつかれさまでした。今回の会報発行は時間との戦いでしたね。それとあまりに30周年関係の記事ばかりで内容的にも薄いものになってしまいました。

H そうは言ってもともかく30周年で盛り上がり、その勢いで現在の活動があるんだから今後、色々な企画で充実させる事にして、今回は好ともかくすべきじゃないですか。今は発行にこぎつけて本当にホッとしています。

O そうですね。我々が新役員として本格的に活動を開始したのが今年1月後半から。会報発行の大任を受けてから発行まで2ヵ月ですもの。ただ、次号は頑張っている卒業生の紹介や同窓会の活動内容なども記載したいですね。

H 昨年の「30周年」記念誌のご意見の中にも同窓会として、母校の紹介を希望される方が多かったですね。さらに大学や在校生に同窓会を理解してもらうためにも、機関誌は重要ですね。編集メンバーももっと充実して、余裕をもって活動したいですね。

O それとどの様な記事を記載して欲しいかも同窓会に寄せてほしいですね。また、編集等を経験された方、文章の書ける方など、ぜひ私どもに力を貸して頂きたいですね。

T 編集でご苦労されていたようですね。ちょっと興味のある方、総務委員会にお声をお掛け下さい。あなたのお力をお貸し下さい。待っています。

英知大学同窓会総務委員会

編集責任者 日高 順一郎
大月 力
辻本 礼子